



We believe the power of GATEBALL

がんばろう日本！とどけようGBスマイル

被災地で活躍するGB!

被災者の皆様の笑顔を取り戻す一助となっています!

被災地ではGB場が避難所などに使用され、プレーの中断を余儀なくされている地域も多々ありますが、逆に、スペースをとらないビンゴボードなどを活用し、GBを通して避難所の子どもたちに笑顔を取り戻す活動などが行われています。そんな3地域の活動をご紹介します。

宮城県
気仙沼市

子どもの日に行われたGB遊びで、
子どもたちに笑顔が戻る!

気仙沼市では、GB場が避難所などに使用されているため、プレーを再開することがなかなかできません。しかし、落ち込んでばかりではいけない、若者たちに我々の元気な姿を見せるとともに、GBを通して楽しんでもらおうと、GB会員が地域の子どもたちに声を掛け、ビンゴボードやカーリングシートを使用したGB遊びを5月5日に行いました。子どもたちはボールを思ったところに打てない、その難しさゆえに余計に楽しさを増したようで、笑顔が絶えない1日となりました。気仙沼市では、今後もこのような活動を各地で実施予定です。

↓後方に見える
白壁の向こう
には97戸の
仮設住宅が建
っている



階上（はしかみ）中
学校の校庭で行われたGB
遊びに参加した子ども
たちとGB会員の皆さん

宮城県
仙台市若林区

被災地の子どもたちとビンゴボードで
楽しいひとときを過ごす

仙台市若林区では、いままでジュニア普及に使われてきたビンゴボードを活用し、被災地の子どもたちと一緒に遊ぶ活動をしています。

右写真の当日は、小学生の男子3人が参加。いずれもGB未経験の子どもたちでしたが、ビンゴボードだけでなく、スパーク打撃までマスターしてしまうほど、短時間で上達しました。また、子どもたちも、はじめての経験に楽しいひとときを過ごしていました。



ビンゴボードを楽しむ、被災地の子どもたち

岩手県
野田村

GB用具とビンゴボードの寄付を受けて、
2カ月振りにスティックを握る

野田村GB協会では、津波のため、コート、そして用具を収納していた倉庫ごと流されてしまい、プレーの再開を諦めていました。そんな状況を目にしたボランティアの人がGBメーカー・(株)ニチヨーなどに呼びかけて用具やビンゴボードを集め、5月7日(土)に被災者を励ますGBイベントが開催されました。当日は、避難所で生活しているGB



会員約20人が参加。参加者からは「2カ月振りのプレーで、身も心もスカッとした」など、喜びの声が聞かれました。

↑2カ月振りの
GBに喜々として
プレーをする
皆さん



→避難所で生活
をしている60～
80代のGB会員、
約20人が参加